

# 顔の見える木材での快適空間づくり事業のうち A材丸太を原材料とする構造材等の普及啓発

## 事業実施主体

協同組合福岡・大川家具工業会

## 実施体制・連携グループ

- 【協同組合福岡・大川家具工業会】 事業実施主体として本事業の企画運営・進捗、経理管理、会議開催、事業報告等を実施
- 【協同組合福岡・大川家具工業会 地域材開発部会】 地域材を活用した家具製作、成果発表実務実施
- 【国産早生樹連絡会】 国産早生樹、国産広葉樹利活用のための助言  
【会長】松村順司(九州大学教授) 【運営委員長】中ノ森哲朗(パナソニックエコソリューションズ総研) 【委員】横尾謙一郎(熊本県林業研究・研修所部長)、佐保公隆(大分県林業水産研究指導センター)
- 【福岡県内の森林組合、福岡県苗木農業協同組合等】 センダン(成木、間伐材)、杉、ヒノキ材の安定供給への協力、センダン苗木生産、植栽への協力
- 【熊本県】 センダン間伐材の供給

## 【テーマ】循環型ビジネスモデルの構築と新しい生活スタイルの提案

### 背景と目的

#### 【背景】

・海外インテリア製品輸入増加と国産材家具の低迷および森林伐採規制強化に伴う輸入材の高騰

・コロナウィルスによる家具業界全体への大ダメージ

#### 【目的】

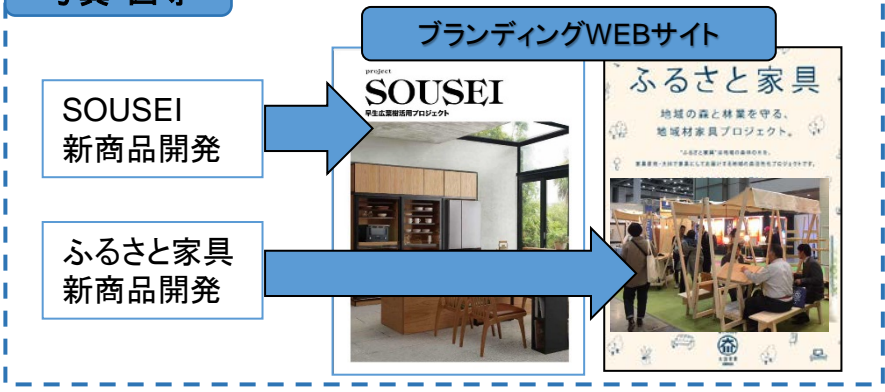
・材料の強度の問題を解決し、杉材の利用促進につなげ、森林を持つ九州の自治体と循環型産業を構築すること。

・アフターコロナ、ウィズコロナの在宅勤務、リモートワークなどへの対応商品の開発

## 対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- SOUSEI: 早生広葉樹を用いたリビング、ダイニングなどの提案。
- ふるさと家具: 地域材を活用した「新たな生活スタイル」の提案。

### 写真・図等



## 事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ① 広葉樹、特にセンダンの間伐材、A材スギ、ヒノキの確保、家具材への加工処理 福岡県内の森林組合、熊本県協力の下、地域の広葉樹、センダン間伐材とA材スギ、ヒノキを確保し、家具に適する材の開発・加工を行います。
- ② 作成する試作品の企画デザイン開発 アフターコロナの新たな生活スタイル対応商品開発を行います。
- ③ 試作品作成事業者の選定と試作品の作成  
当組合員企業より試作品の作成事業者を決め、試作品の作成を行います。
- ④ パンフレット作成 試作品完成後、成果発表の展示会のためのパンフレットを作成します。
- ⑤ WEBブランディングサイト作成  
「プロジェクトSOUSEI」「ふるさと家具プロジェクト」それぞれのブランディングサイトを構築
- ⑥ 森林を持つ九州の自治体と循環型ビジネスモデルの構築 森林を持つ自治体と大川市とが手を組み、大川家具が九州の木加工拠点とし、川上から川下までが一連となった植樹活動を行うことで循環型産業の構築を目指します。  
いづれにしても、センダンを植え、育てていただき、それを流通させていただく方々や、その材を使って商品を作る私たちや建築などに携わる方々すべてに満足していただけるような体制を築いていくことが、センダンの循環型林業の目指すものであり、その仕掛人として、家具産地大川の新たな未来を築いていくものとして責任をもってこの活動にあたっていく。

### スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

商品企画、資材準備、製作準備

商品製作、パンフレット作成

普及イベント

報告書作成